

自然観察会報告  
静岡市高山・市民の森自然観察会  
高田 歩



図 1. 手にのせたシロシャチホコを観察する様子

6月22日の日曜日、静岡市高山・市民の森にて観察会を行いました。高山では小雨が降り続いていましたが、参加者は大人・子供合わせて17名集まりました。この日の講師は、植物を担当する杉野孝雄先生、昆虫を担当する杉本武先生、鳥類と哺乳類を担当する三宅隆先生の3名でした。

学習展示施設の「森の恵」前から展望台まで続く山道を登り始めると、さっそくマタビやサンショウ、ヤマアジサイなどが目に入りました。参加者はサンショウの葉を採って香りを嗅ぎながら、杉野先生の話に聞き入っていました。ゆっくりと山道を歩いていると、50mほど先の霧の中で動く影がいくつか見られました。ちょうどニホンザルの群れが移動してきたところだったようで、こちらに気づくとすぐに林の中へ隠れてしまいました。よく見ると、山道の手すりにはサルのフンが多く乗っており、中に植物の種が無数に入っていたことから、サルたちが付近の果実を食べている様子うかがえました。

一方、雨が降る中では昆虫はあまり観察できませんでしたが、林の中からクロツグミやイカル、ホオジロ、メジロ、ヤブサメ、ウグイス、ガビチョウといった鳥の鳴き声が聞こえてきました。

展望台での昼食を終え、雨が弱まると、ようやく昆虫が草の間から顔をのぞかせました。活



図 2. ハンミョウ

発になった昆虫たちが飛び交う中、山道を降りていると、サワグルミの枝で独特なポーズを決めこんでいるシロシャチホコの幼虫を見つけました(図1)。

池に向かうとたくさんのモリアオガエルの卵塊が目につきました。池の中には早くも孵化したオタマジャクシが泳ぎ回り、イモリやヤゴなども観察されました。この日は雨天ということもあり、トンボなどは飛んでいませんでしたが、たまたま飛んできたハンミョウが参加者の注目を集めました(図2)。青や赤、黄色などの金属光沢の美しい体色に感嘆し、写真を撮った人も多かったようです。

この日の観察会で観察した植物は上記のほかコマツナギやモミジイチゴ、テイカカズラ、オニルリソウ、カラスザンショウ、オカトラノオ、キブシ、ヤブウツギなどでした。昆虫では、ヨコバイやキタキチョウ、コフキゾウムシ、サトクダマキモドキ、オバボタル、キマフリなどが見られました。今回、観察会の場となった高山・市民の森は秋に訪れると天候が良いことも多く、よりいっそう面白い生き物が観察できるので、再び訪れる参加者も少なくなかったことでしょう。最後になりましたが、今回、講師となってくださった先生方や参加者の皆さま、雨の中お集まりいただきありがとうございました。